

バイオマスプラスチック燃やすごみ指定袋のモニター調査について

1 経過

○国は、資源・廃棄物制約、海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化対策などの課題に対応し、持続可能な社会を実現するため、令和元年5月に「プラスチック資源循環戦略」を策定

重点戦略の中で、可燃ごみ用指定収集袋などの燃やすざるを得ないプラスチックは、原則としてバイオマスプラスチックが使用されるよう取組を進めるとした。

○市においても、「ゼロカーボンシティ」実現に向けて温室効果ガスの排出量を削減するため、一般廃棄物処理基本計画に「廃棄物分野におけるバイオマスプラスチックの利用促進」を掲げて施策を実施

令和5年度に、市産米を10%配合した燃やすごみの20L指定袋を500万枚製造し、令和6年度から流通を開始。バイオマスプラスチックの啓発に取り組んでいる。

○今後は、更なる温室効果ガス削減と製造コスト削減に向け、バイオマス率を向上しつつ、燃やすごみ指定袋全体への導入拡大を図る。

2 調査概要

バイオマス率を向上させた新たな燃やすごみ指定袋の導入検証のため、一般家庭での使用感や強度等にかかるモニター調査を実施する。

(1) 調査内容

米+植物由来のバイオマス原料を25%配合した、バイオマスプラスチック製20L指定袋10枚を実際に使用してもらい、使用感などをアンケートにより調査するもの。

(2) 実施時期

令和7年 1月10日～31日 試用期間
2月1日～3日 アンケート調査

(3) 調査対象者

約200人 一般公募約100人、
クリーンにいがた推進員、清掃審議会委員等100人

